

FP 3 級 模擬試験

【実技】

解答・解説

【第1問】下記の（問1）、（問2）について解答しなさい。

問1

ファイナンシャル・プランニング業務を行うに当たっては、関連業法を順守することが重要である。ファイナンシャル・プランナー（以下「FP」という）の行為に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

1. 投資助言・代理業者の登録を受けていないFPが、NISAとつみたてNISA、iDeCoなど、商品の概要を説明した。
2. 生命保険募集人の登録をしていないFPが、自己が勤務する保険代理店を訪れた顧客に対し、保険商品の説明および保険加入の手続きを行った。
3. 弁護士資格を有さないFPが、公正証書作成時の証人および任意後見人となった。

問2

下記は、木下家のキャッシュフロー表(一部抜粋)である。このキャッシュフロー表の空欄(ア)～(ウ)に入る数値とその求め方として、最も適切なものはどれか。なお、計算に当たっては、キャッシュフロー表中に記載の整数を使用し、計算結果については万円未満を四捨五入すること。

<木下家のキャッシュフロー表> (単位:万円)

経過年数		現在	1年	2年	3年
西暦(年)		2021	2022	2023	2024
令和(年)		3	4	5	6
木下 誠	本人	42歳	43歳	44歳	45歳
和子	妻	39歳	40歳	41歳	42歳
翔太	長男	11歳	12歳	13歳	14歳
ライフイベント		車の買換え		翔太 中学校入学	
	変動率				
給与収入(夫)	—	520	520	520	520
給与収入(妻)	—	90	90	90	90
収入合計	—	610	610	610	610
基本生活費	1%	300		(ア)	309
住宅関連費	—	120	120	120	120
教育費	—	40	40	90	90
保険料	—	47	47	47	47
一時的支出	—	300			
その他支出	—	30			
支出合計	—	837			566
年間収支	—	(イ)			44
金融商品残高	1%			680	(ウ)

※年齢および金融資産残高は各年12月31日現在のもの。2021年を基準年とする。
 ※給与収入は可処分所得で記載している。
 ※記載されている数値は正しいものとする。
 ※問題作成の都合上、一部を空欄にしてある。

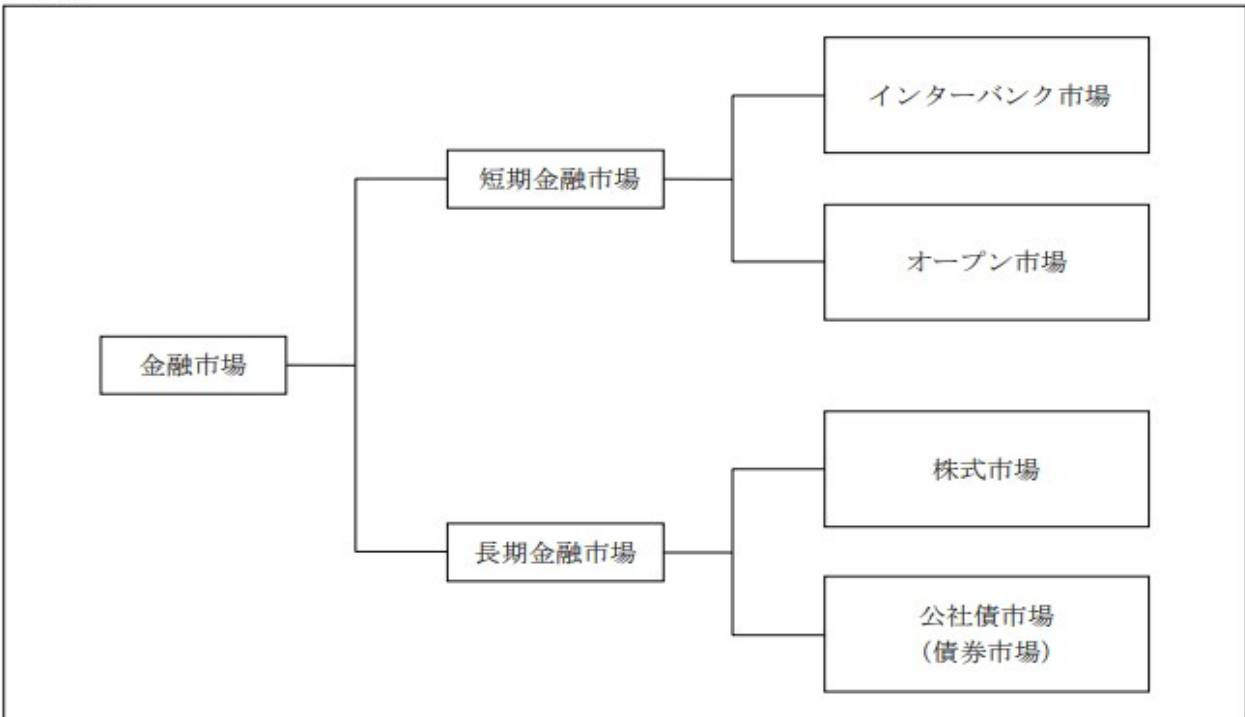
1. 空欄(ア) : 「 $300 \times (1 + 0.01)^2 \div 306$ 」
2. 空欄(イ) : 「 $837 - 610 = 227$ 」
3. 空欄(ウ) : 「 $(680 + 44) \times (1 + 0.01) \div 731$ 」

【第2問】下記の（問3）～（問6）について解答しなさい。

問3

下記＜資料＞は、金融市場の分類について示した図である。＜資料＞に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

<資料>



- 1. 短期金融市場と長期金融市場は、取引対象である金融商品の満期までの期間が3年以内か3年超か によって分類されている。 1年
- 2. コール市場や手形市場は、インターバンク市場に分類される。
- 3. オープン市場は、一般の事業法人など金融機関以外でも参加できる市場である。

問4

下記は、NISA(少額投資非課税制度)の概要についてまとめた表である。下表に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

対象となる金融商品	上場株式、株式投資信託、J-REIT(上場不動産投資信託)等
口座開設	原則1人1口座
金融機関の変更	(ア)
非課税投資枠	新規投資額で年間(イ)まで
非課税枠の未使用分	翌年以降に(ウ)

- 1. 空欄(ア)に入る語句は、「1年単位で可能」である。
- 2. 空欄(イ)に入る語句は、「100万円」である。 120万円
- 3. 空欄(ウ)に入る語句は、「繰り越すことができない」である。

問5

下記<資料>に基づくSX株式会社の投資指標に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。なお、購入時の手数料および税金は考慮しないこととする。

<資料>

[株式市場に関するデータ]

株式市場の投資指標

(P E Rと配当利回りの太字は予想、カッコ内は前期基準、P B Rは四半期末基準、連結ベース。算出不能は—)

	P E R (倍)	P B R (倍)	配当利回り (%)	
			単純平均	加重平均
日経平均採用銘柄	13.81 (16.03)	1.24	1.74 (1.56)	
J P X日経400採用銘柄	15.06 (16.08)	1.45	1.55 (1.43)	
東証1部全銘柄	15.66 (17.71)	1.34	1.59 (1.49)	1.93 (1.77)
東証2部全銘柄	28.14 (—)	1.57	1.52 (1.50)	1.05 (1.01)
ジャスダック全銘柄	20.49 (25.22)	1.63	1.38 (1.36)	
株式益回り (東証1部全銘柄)			予想	6.38%
			前期基準	5.64%

(出所：日本経済新聞 2018年2月7日朝刊 18面)

[S X株式会社に関するデータ]

株価	810円
1株当たり純利益 (今期予想)	62円
1株当たり純資産	580円
1株当たり年間配当金 (今期予想)	16円

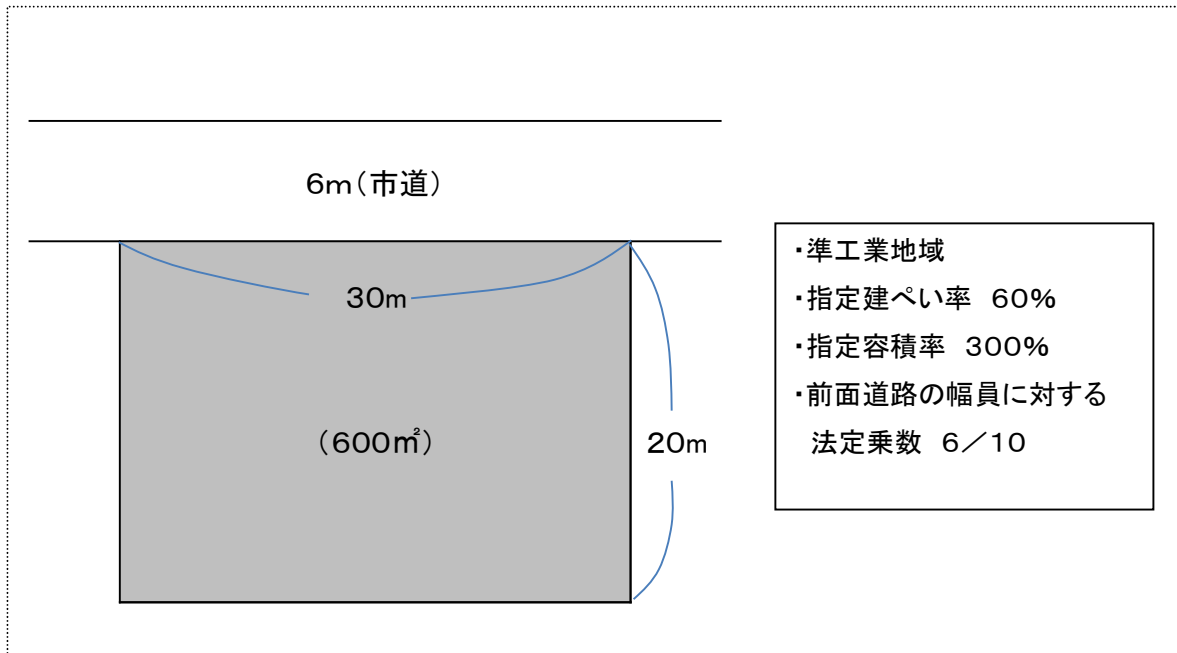
1. 株価収益率(PER)で比較した場合、SX株式会社の株価は日経平均採用銘柄の平均(予想ベース)より割安である。
2. 株価純資産倍率(PBR)で比較した場合、SX株式会社の株価は東京証券取引所市場第1部(東証1部)全銘柄の平均より割安である。
3. 配当利回り(単純平均)で比較した場合、SX株式会社の配当利回りはジャスダック全銘柄の平均(予想ベース)より高い。

SX社	資料
PER	13.81倍
$\frac{\text{株価}}{\text{利益}} = \frac{810 \text{円}}{62} = 13.06 \text{倍}$	<
PBR	1.34倍
$\frac{\text{株価}}{\text{資産}} = \frac{810 \text{円}}{580} = 1.39 \text{倍}$	>
$\frac{\text{配当金}}{\text{株価}} \times 100 = \frac{16 \text{円}}{810 \text{円}} \times 100 = 1.97\%$	>
配当利回り	1.38%

【第3問】 次の設例に基づいて、下記の各問（問6）（問7）について解答しなさい。

問6

建築基準法に従い、下記<資料>の土地に建築物を建築する場合の建築面積の最高限度として、正しいものはどれか。なお、記載のない条件については一切考慮しないこととする。



1. $600 \times 0.6 \times 6 / 10 = 216(\text{m}^2)$
2. $600 \times 0.6 = 360(\text{m}^2)$
3. $600 \times 3.0 = 1,800(\text{m}^2)$

問7


建築基準法の用途制限に従い、第一種低層住居専用地域内の土地に建築物を建築する場合、建築可能なものとして、正しいものはどれか。なお、記載のない条件については一切考慮しないこととする。

1. ホテル
2. カラオケボックス
3. 診療所

第一種低層住居専用地域には、12種類の用途地域の中で最も厳しい規制がかけられており、住宅以外の施設で建築可能なものは、幼稚園・小中学校・高校といった教育施設（大学は不可）や図書館等の公共施設、老人ホームや診療所・保育所等の福祉施設のみ。
工場や倉庫はもちろん、店舗・事務所・病院・ホテル・旅館等も建築不可

【第4問】（問8）～（問10）について解答しなさい。

<資料>

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 保険証券記号番号 ○○△△××□□ </div> <div style="margin-left: 100px;"> 定期保険特約付終身保険 </div>			
保険契約者	田村 壮太 様	保険契約者印	◇契約日(保険期間の始期) 2018年10月1日 (平成30年) ◇主契約の保険期間 終身 ◇主契約の保険料払込期間 60歳払込満了
被保険者	田村 壮太 様 契約年齢 31歳 男性		
受取人	(死亡保険金) 田村 恵美 様(妻)		
◆ご契約内容		◆お払いいただく合計保険料	
終身保険金額(主契約保険金額)		200万円	
定期保険特約保険金額		1,800万円	
3大疾病補償定期保険特約保険金額		200万円	
傷害特約保険金額		300万円	
災害割増特約		500万円	
災害入院特約	入院5日目から	日額5,000円	
疾病入院特約	入院5日目から	日額5,000円	
不慮の事故や疾病により所定の手術を受けた場合、手術の種類に応じて(入院給付金日額の10倍・20倍・40倍)の手術給付金を支払います。			
通院特約(入院5日目以降の通院)		日額5,000円	
		毎回 ××, ×××円/月	
		【保険料払込方法(回数)】	
		団体月払い	
		◇社員配当金支払方法	
		利息をつけて積立	
		◇特約の払込期間および保険期間	
		10年	

問8 田村壮太さんが2021年中に不慮の事故で死亡(即死)した場合に支払われる死亡保険金は()である。

1. 2,000万円
2. 2,800万円
3. 3,000万円

終身	200万円
定期	1,800万円
3大疾病	200万円
傷害	300万円
災害割増	500万円


問9 田村壮太さんが骨折のため14日間入院し、その後5日間通院した場合、支払われる給付金は()である。

1. 50,000円
2. 75,000円
3. 95,000円

入院給付金	$5,000 \text{円} \times (14 \text{日} - 4 \text{日}) = 50,000 \text{円}$
通院給付金	$5,000 \text{円} \times 5 \text{日} = 25,000 \text{円}$

問10

個人賠償責任保険に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

1. 個人賠償責任保険は、日本国内に個人が居住する住宅の所有、使用または管理に起因する事故や、日常生活で起きた偶発的な事故による賠償責任を補償する。
-  2. 個人賠償責任保険は、業務上の賠償事故、自動車による賠償事故、預かっている物に対する賠償責任を補償の対象とする。
3. 地震、噴火、これらによる津波によって生じた損害は、個人賠償保険の補償の対象とならない。

業務上の賠償事故、自動車による賠償事故、預かっている物に対する賠償責任については補償の対象とならない。

【第5問】下記の（問1 1）、（問1 2）について解答しなさい。

問1 1

会社員の福島雄介さんが2021年中に下記＜資料＞の医療費等を支払った場合、所得税の確定申告における医療費控除の金額として、正しいものはどれか。なお、支払った医療費は、すべて本人および生計を一にする配偶者や親族のために支払ったものであり、保険金等で補てんされた金額はない。

＜資料＞

内容	支払金額
人間ドックに要した費用(重大な疾病が発見され、そのまま入院した)	80,000円
虫歯の治療費	20,000円
骨折の治療費	30,000円
急性腸炎による入院時に自己都合で選択した差額ベッド代	40,000円
急性腸炎による入院治療のための費用	80,000円
健康増進のためのサプリメント購入費用	20,000円
薬局での風邪薬購入費用	10,000円
美容整形の施術費用	100,000円

1. 3万円
2. 12万円
3. 22万円

$$220,000 \text{ 円} - 100,000 \text{ 円} = 120,000 \text{ 円}$$

人間ドックの費用は、重大な疾病が発見された場合対象。
 疾病が発見されなかった場合は対象外。
 美容や予防に関するものは対象外。

問1 2

個人事業主として雑貨販売業を営む木村志穂さんの令和3年分の各種所得の金額は下記＜資料＞のとおりである。木村さんの総合課税の対象とされる総所得金額として正しいものはどれか。なお、木村さんの令和3年中の所得は＜資料＞に記載されている所得以外にはないものとする。

＜資料＞木村さんの令和3年分の所得の金額

事業所得	200万円	雑貨販売業の所得
給与所得	40万円	退職した勤務先から受給した給与（給与所得控除後の金額）
譲渡所得	350万円	不動産の譲渡によるもの

$$1. 200 \text{ 万円} + 40 \text{ 万円} + 350 \text{ 万円} = 590 \text{ 万円}$$

不動産の譲渡による譲渡所得は分離課税

$$2. 40 \text{ 万円} + 350 \text{ 万円} = 390 \text{ 万円}$$

$$3. 200 \text{ 万円} + 40 \text{ 万円} = 240 \text{ 万円}$$

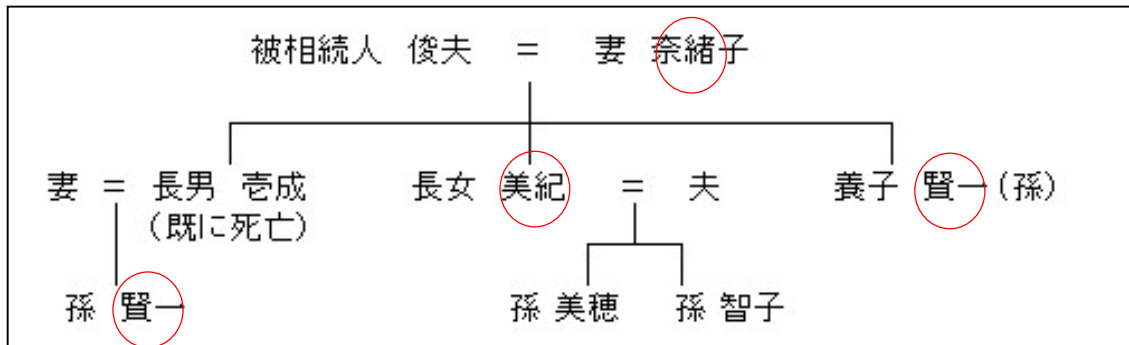
$$\text{総所得金額} = 200 \text{ 万円} + 40 \text{ 万円} = 240 \text{ 万円}$$

【第6問】下記の（問13）、（問14）について解答しなさい。

問13

2021年5月20日に相続が開始された山本俊夫さん（被相続人）の＜親族関係図＞が下記のとおりである場合、民法上の相続人および法定相続分の組み合わせとして、正しいものはどれか。なお、記載のない条件については一切考慮しないこととする。

＜親族関係図＞



1. 奈緒子 1/2 美紀 1/4 賢一 1/4
2. 奈緒子 1/2 美紀 1/6 賢一 1/3
3. 奈緒子 1/2 美紀 1/6 賢一 1/6 美穂 1/12 智子 1/12

問14

下記＜資料＞の宅地（貸家建付地）について、路線価方式による相続税評価額の計算式として正しいものはどれか。

＜資料＞

記号	借地権割合
A	90%
B	80%
C	70%
D	60%
E	50%

※ 奥行価格補正率 1.00
 ※ 借家権割合 30%
 ※ 賃貸割合 100%
 ※ その他記載のない条件は考慮しない

1. 300,000円 × 1.00 × 300㎡ × 70%
2. 300,000円 × 1.00 × 300㎡ × (1-70%)
3. 300,000円 × 1.00 × 300㎡ × (1-70% × 30% × 100%)

【第7問】下記の（問15）～（問20）について解答しなさい。

<設例>

辻 雅人さんは、ST株式会社に勤める会社員である。2020年10月に第一子が生まれたこともあり、今後の生活設計についてFPで税理士でもある森本さんに相談をした。なお、下記のデータ はいずれも2021年12月1日現在のものである。

【家族構成（同居家族）】

氏名	続柄	生年月日	年齢	職業
辻 雅人	本人	1986年8月24日	35歳	会社員
環	妻	1989年5月25日	32歳	専業主婦
志桜里	長女	2020年10月26日	1歳	

【保有資産（時価）】 (単位：万円)

金融資産	
普通預金	100
定期預金	300
財形住宅貯蓄	300
生命保険（解約返戻金相当額）	80

【負債】

自動車ローン(自家用) : 80万円(債務者は雅人さん)

【マイホーム資金計画】

雅人さんは、3,200万円のマンションの購入を検討しており、民間金融機関で2,700万円の住宅ローンを組む予定である。マンション購入の頭金は500万円とし、その内訳は、財形住宅貯蓄300万円、定期預金300万円のうち200万円である。

【その他】

上記以外については、各設問において特に指定のない限り一切考慮しないこととする。

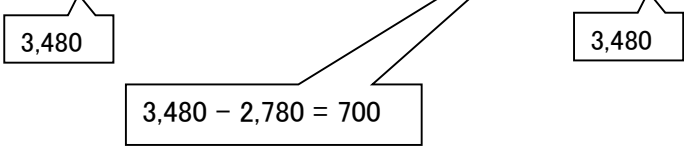
問15

FPの森本さんは、マイホーム購入後の辻家のバランスシートを作成した。下表の空欄（ア）にあてはまる金額として、正しいものはどれか。なお、＜設例＞に記載のあるデータに基づいて解答することとし、＜設例＞に記載のないデータについては一切考慮しないこととする。

＜辻家のバランスシート＞

【資産】		【負債】	
金融資産		住宅ローン	2,700 ×××
普通預金	100 ×××	自動車ローン	80 ×××
定期預金	300-200=100 ×××	負債合計	2,780 ×××
財形住宅	300-300=0 ×××		
80 生命保険（解約返戻金相当額）	×××	【純資産】	(ア)
3,200 不動産（自宅マンション）	×××	負債・純資産合計	×××
資産合計	×××		

1. 700（万円）
2. 900（万円）
3. 1,200（万円）



問16

雅人さんは、今後15年間で積立貯蓄をして、志桜里さんの教育資金として300万円を準備したいと考えている。積立期間中に年利2.0%で複利運用できるものとした場合、300万円を準備するために必要な毎年の積立金額として、正しいものはどれか。なお、下記＜資料＞の3つの係数の中から最も適切な係数を選択して計算し、解答に当たっては、千円未満を四捨五入すること。また、税金や記載のない事項については一切考慮しないこととする。

＜資料：係数早見表（年利2.0%）＞

	現価係数	減債基金係数	資本回収係数
15年	0.74301	0.05783	0.07783

※記載されている数値は正しいものとする。

1. 173,000円
2. 223,000円
3. 534,000円

15年間年利2%で複利運用しながら、目標額300万円を積み立てる場合に、必要な毎年の積立額はいくら？
※減債基金係数は、一定期間一定利率で複利運用しながら目標額を積み立てる場合、毎年いくら積み立てるかを計算するときを使う。

問17

雅人さんは、住宅借入金等特別控除(以下「住宅ローン控除」)の適用要件等について森本さんに質問をした。住宅ローン控除に関して、FPの森本さんが答えた次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

1. 「建物の床面積が 50 m²であり、かつ2分の1以上が居住の用に供されていることが要件となっています。」
2. 「借入金については、住宅ローンの償還期間が10年以上であること」「知人・親からの借入金でないこと、等の要件があります。」
3. 「住宅ローン控除の適用を受けるためには、確定申告が必要となります。ただし、給与所得者のうち年末調整で申告・納税が完了する者は、1年目から年末調整で控除を受けることができます。」

1年目は必ず確定申告が必要。2年目以降は年末調整で控除可能。

問18

雅人さんと環さんが加入している生命保険は下記<資料>のとおりである。<資料>のうち、保険金受取人が死亡保険金を受け取った場合に所得税が課される契約として、正しいものはどれか。

<資料>

契約	保険契約者 (保険料負担者)	被保険者	死亡保険金 受取人	保険金額	保険期間
定期保険A	雅人	雅人	環	2,000万円	60歳まで
養老保険B	雅人	環	雅人	1,000万円	60歳まで
終身保険C	雅人	環	志桜里	500万円	終身

1. 定期保険A
2. 養老保険B
3. 終身保険C

契約者=受取人

自分で支払った保険料を自分で受け取る! → 一時所得

問19

雅人さんには、定年退職時に勤務先から退職一時金2,500万円が支給される見込みである。この場合における所得税に係る退職所得の金額（計算式を含む）として、正しいものはどれか。雅人さんの勤続年数は38年とし、障がい者になったことに起因する退職ではないものとする。

<参考：退職所得控除額の求め方>

勤続年数	退職所得控除額
20年以下	勤続年数×40万円（最低80万円）
20年以上	800万円+70万円×（勤続年数-20年）

1. $(2,500万円 - 2,060万円 - 50万円) \times 1/2 = 195万円$
2. $(2,500万円 - 2,060万円) \times 1/2 = 220万円$
3. $(2,500万円 - 2,060万円) = 440万円$

問20

雅人さんの公的年金加入歴は下記のとおりである。仮に、雅人さんが現時点（35歳）で死亡した場合、雅人さんの死亡時点において妻の環さんに支給される公的年金の遺族給付に関する次の記述のうち、最も適切なものはどれか。なお、雅人さんは、入社時（22歳）から死亡時まで厚生年金保険に加入しているものとし、遺族給付における生計維持要件は満たされているものとする。



1. 遺族厚生年金のみが支給される。
2. 遺族基礎年金および遺族厚生年金が支給される。
3. 死亡一時金および遺族厚生年金が支給される。